教職員の勤務状況等調査結果【令和７年１月のまとめ】

令和7年3月　群馬県教育委員会 学校人事課管理係

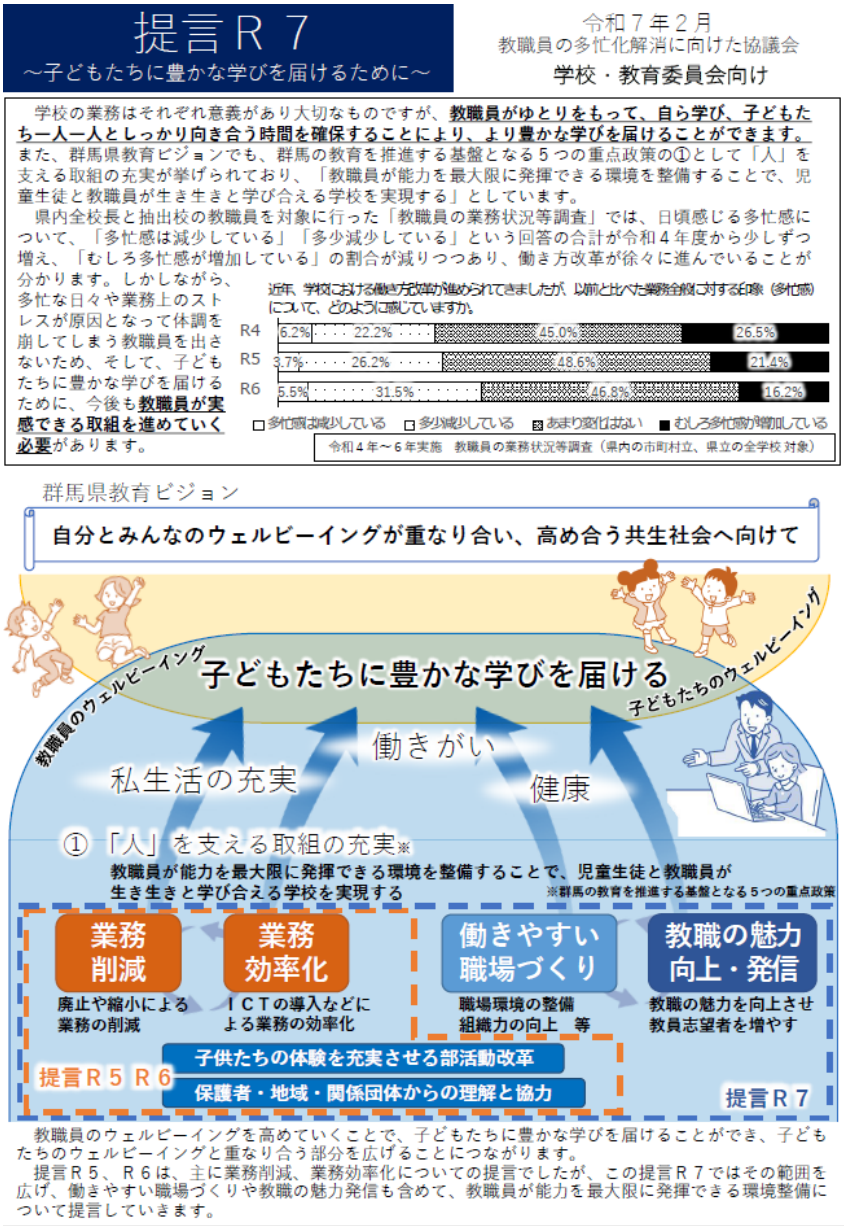
毎月の勤務状況等調査に御協力いただきありがとうございます。令和７年１月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。

提言R7が発出されました

■2月19日に発出された「提言R7」はご覧いただけましたでしょうか。昨年の業務状況等調査からは、日頃感じる多忙感について、「多忙感は減少している」「多少減少している」という回答の合計が令和4年度から増えてきており、学校の働き方改革が徐々に進んでいることが分かっております。

教職員のウェルビーイングを高めるためには、業務の削減・効率化以外の要素も重要であることから、この「提言R7」では、その範囲を広げ、「働きやすい職場づくり」や「教職の魅力向上・発信」といった項目を設け、教職員がその能力を最大限に発揮できる環境整備について提言するものとなっています。

また、今回の「提言R7」は学校、教育委員会向けとなっております。今回の発出とは時期がずれますが、新年度になってから、新しい「保護者、地域、関係団体向けメッセージ」の発出を計画しております。発出の折には、配布等への御協力をお願いいたします。



教職員のウェルビーイングを高めていくことで、子どもたちに豊かな学びを届けることができ、子どもたちのウェルビーイングと重なり合う部分を広げることにつながります。

提言Ｒ５、Ｒ６は、主に業務削減、業務効率化についての提言でしたが、この提言Ｒ７ではその範囲を広げ、働きやすい職場づくりや教職の魅力発信も含めて、教職員が能力を最大限に発揮できる環境整備について提言していきます。

令和7年1月の状況について

■令和6年１月との比較では、中学校、高等学校を中心に、時間外在校等時間45時間超、80時間超の方の割合に減少が見られました。

在校等時間の把握の目的はその長時間化の是正ですが、そのためには、教育職員の勤務時間を適切に把握することが重要かつ出発点であり、その上で、校長等の学校の管理職及び教育委員会においては、時間外在校等時間の長時間化の要因の整理・分析・検証、時間外勤務縮減に向けた適切な対策等を行う必要があるとされております。

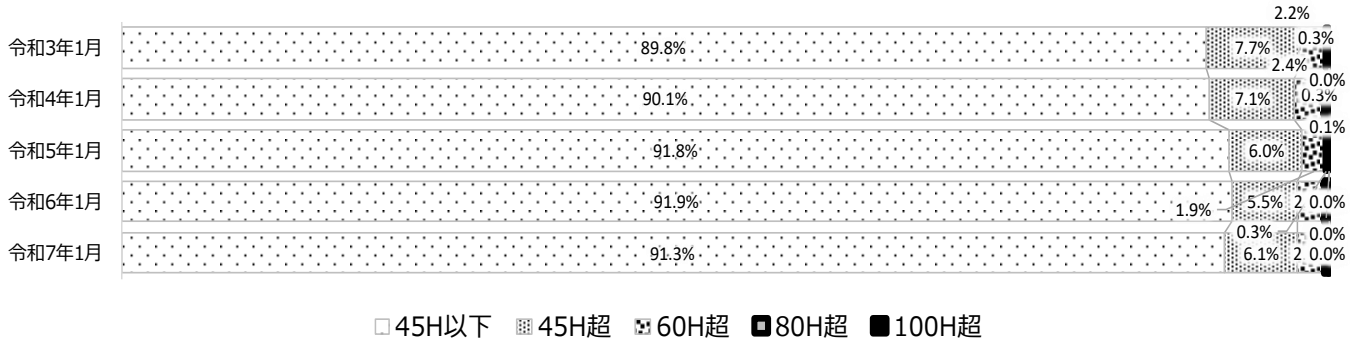
今後とも、在校等時間の定義に沿った正確な把握に御協力をお願いいたします。

		45H超	80H超
小学校	令和6年1月	8.1%	0.4%
	令和7年1月	8.7%	0.4%
		0.6pt増	増減なし
中学校（義務教育学校含む）	令和6年1月	25.4%	1.7%
	令和7年1月	23.5%	1.5%
		1.9pt減	0.2pt減
高等学校（中等教育学校含む）	令和6年1月	18.9%	3.0%
	令和7年1月	17.1%	2.7%
		1.8pt減	0.3pt減
特別支援学校	令和6年1月	1.2%	0.1%
	令和7年1月	1.7%	0.0%
		0.6pt増	0.1pt減

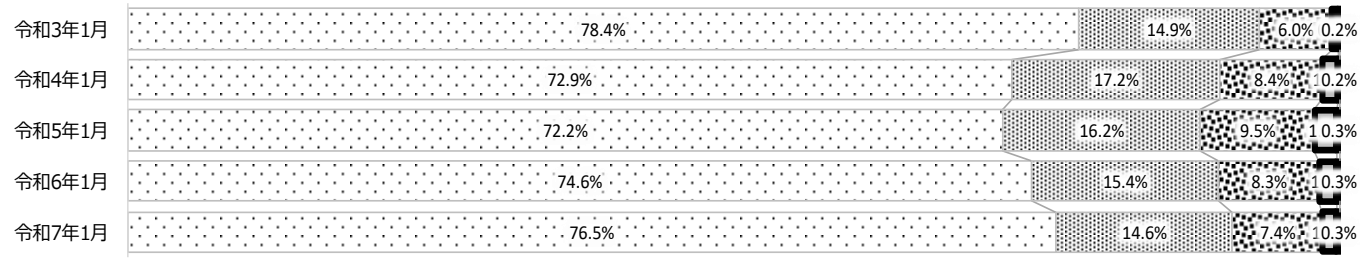
県教委が提供する在校等時間記録ファイル（Excel）については、例年３月に新しいファイルを公開しております。令和7年度用のファイルについても、今月中にダウンロードできるよう公開していく予定です。令和6年度まで使用していたファイルは、設定上そのまま令和7年度に使用することができませんので、必ず新しく配布されるファイルをダウンロードして使用していただきますよう、あらかじめ御承知おきください。

時間外在校等時間の状況【1月の経年変化】

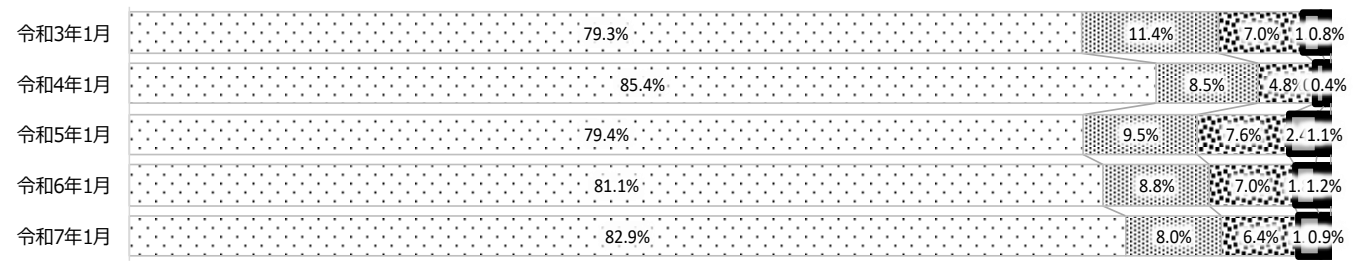
1　小学校の状況



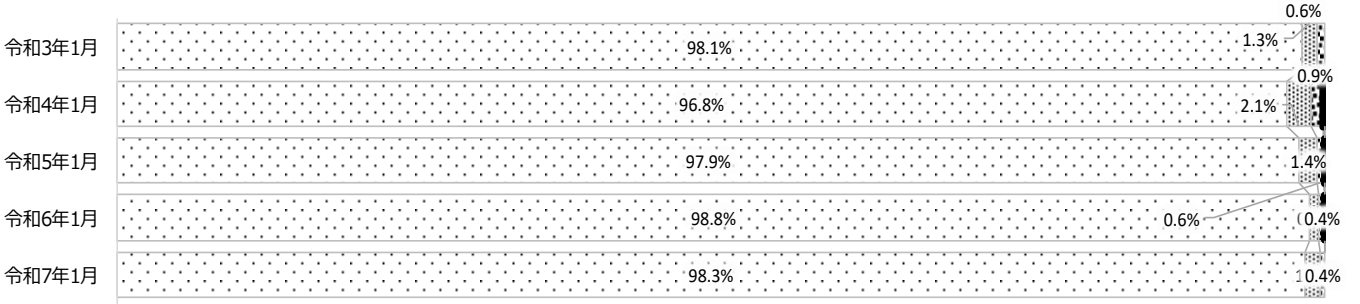
2　中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3　高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



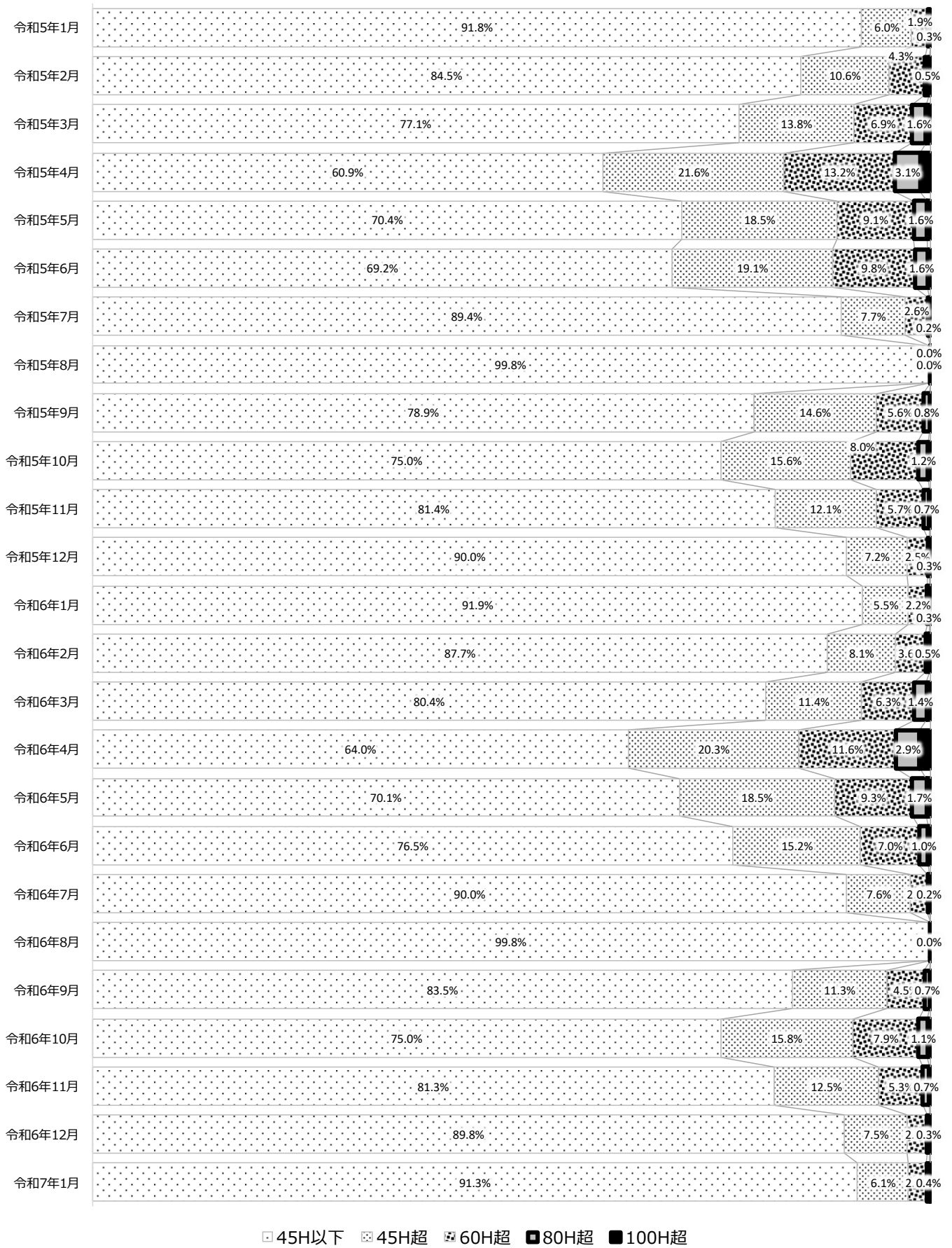
4　特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和5年1月～】

［市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査］

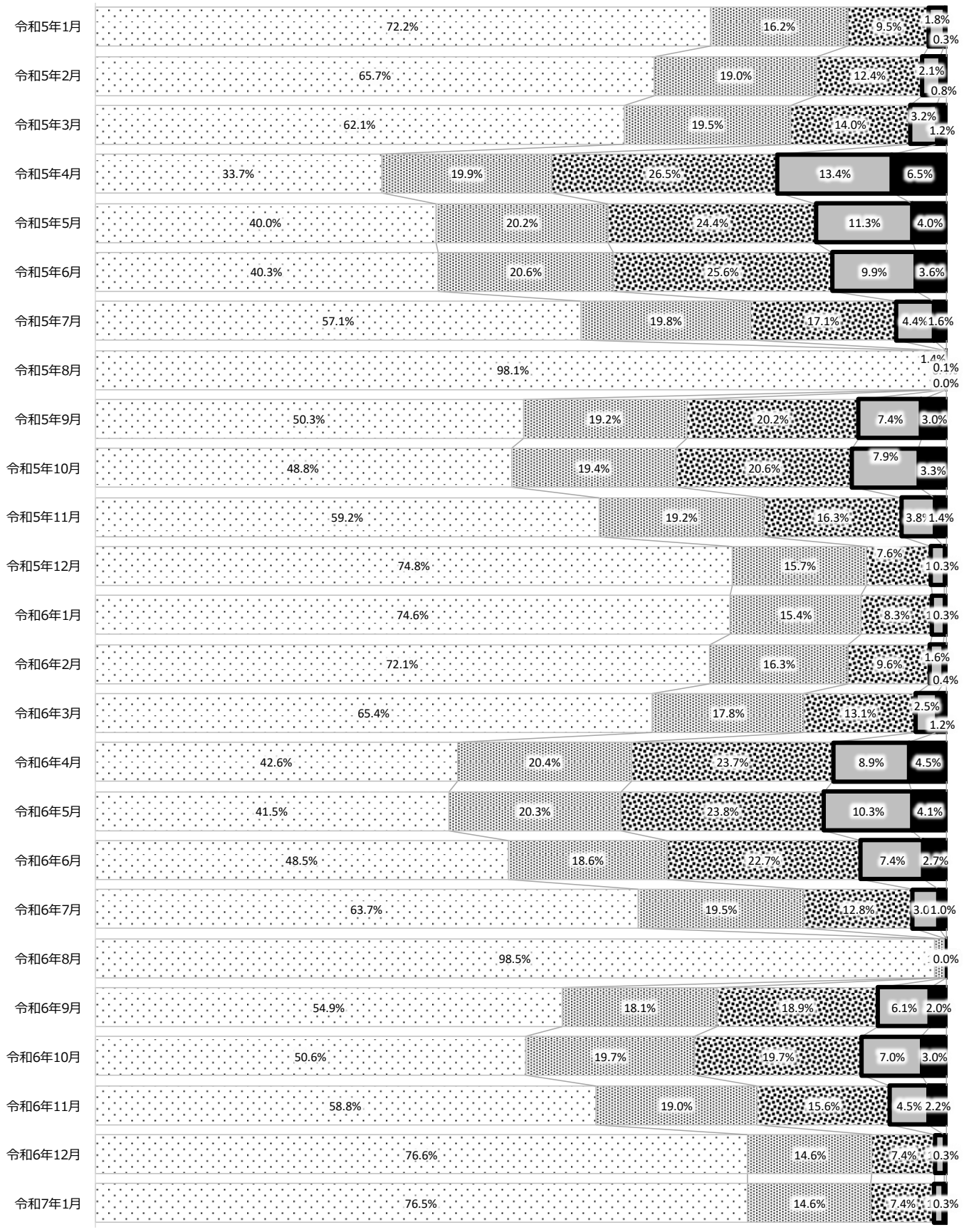
1　小学校の状況



時間外在校等時間の状況【令和5年1月～】

［市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査］

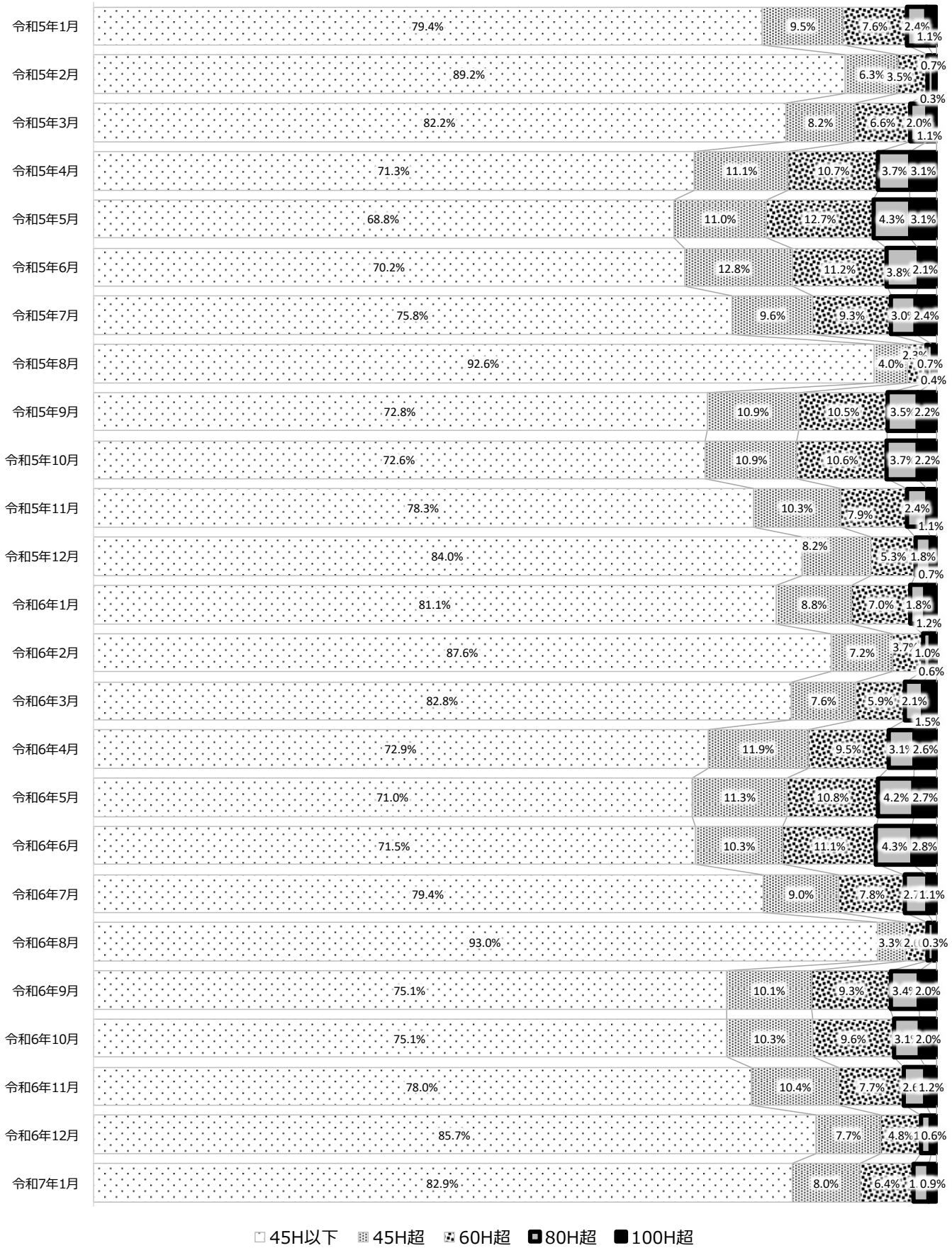
2　中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



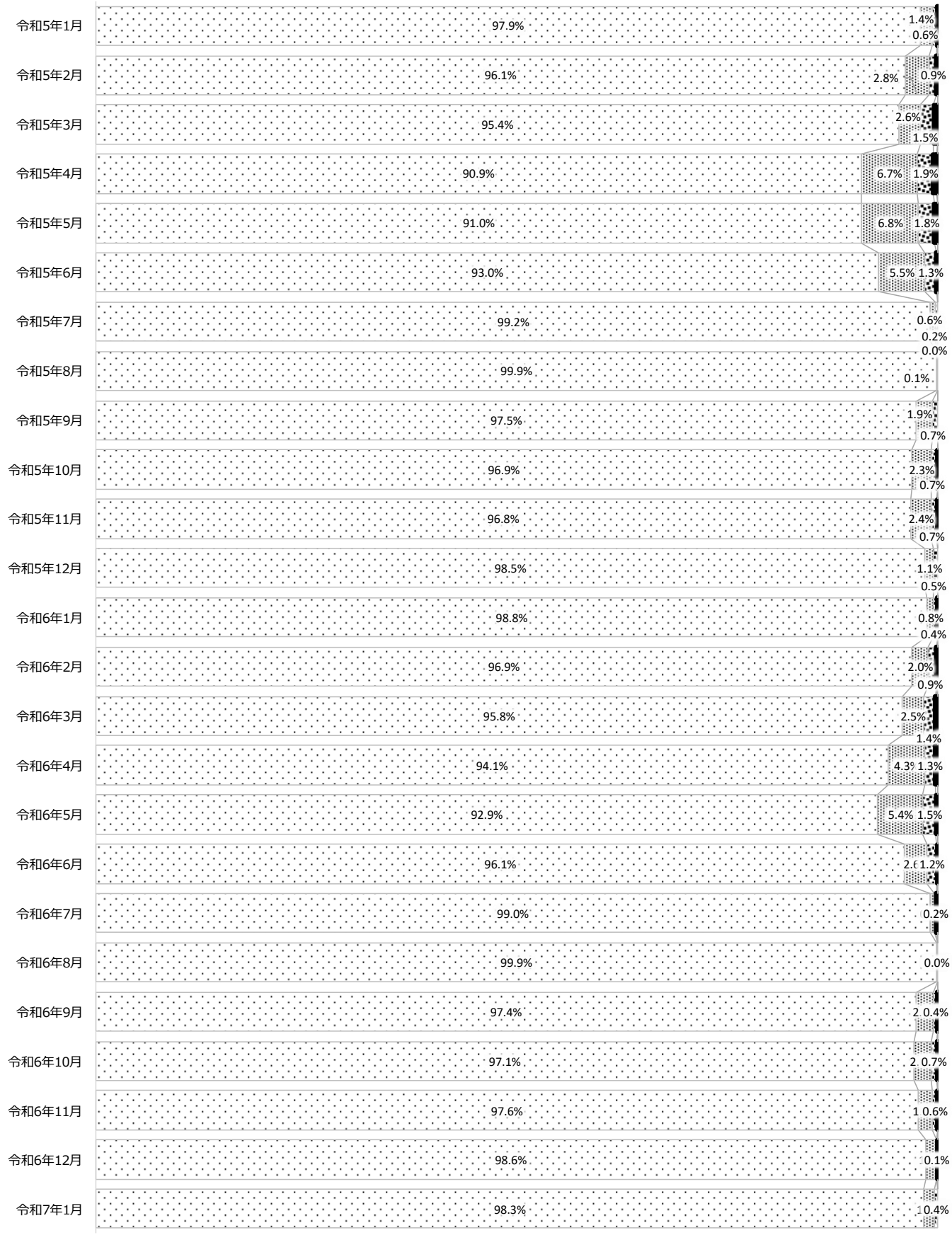
時間外在校等時間の状況【令和5年1月～】

［市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査］

3　高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



時間外在校等時間の状況【令和5年1月～】

［市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査］

4　特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）